

日時 平成27年12月15日(火)

午後7時～8時30分

会場 同窓会館1F会議室

出席者

(協議会委員) 岡澤潤次 井関義彦 笹倉千里 大喜多和子 古川広宣(欠席)

(学校事務局) 准校長 教頭<事務局長>主査 首席 記録

〈次第〉

1 准校長挨拶

私自身、可能な限り校門で挨拶を交わすことを行っています、生徒も少しずつ挨拶をしてくれるようになっていきます。今回の学校協議会は第2回で、中間報告になります。学校教育自己診断と授業アンケートの結果も出ております。協議をおねがいします。

2 協議(岡澤氏が議長にて進行)

(1) 本校の現状について

- ・学校教育自己診断 結果について報告

保護者の提出率は、昨年より増えており全体の半数以上で回答があった。

生徒の「(1) 学校に行くのが楽しい。」の項目で昨年度23%であった「よくあてはまる」が、32.6%と増えており、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の肯定的意見を足すと69.6%と高い割合となっている。

- ・授業アンケートについて報告
- ・今年度の取り組みの報告

- 1、農園を活用した取り組み
- 2、「支援学校との交流及び共同学習」の取り組み
- 3、「地域連携による相互交流」について
- 4、公開講座について
- 5、基礎学力講座 2回開講
- 6、第15回高校生ものづくりコンテスト近畿大会出場
- 7、大阪府高等学校定時制通信制 生徒秋季発表大会 大阪府教育委員会賞、教育振興会賞受賞

(2) 本校教育に期待すること(委員より)

- ・授業アンケートについて

⇒「(1) 学校に行くのが楽しい。」の肯定的回答が増加しているのは、教員が個々の生徒にたいして寄り添う指導を実践しているから。

- ・授業を見ている中で、定時制は面倒見が良い。若い先生が多いが、生徒と同じ目線になって対応しているのが良いのでは。
- ・先生方の努力や高卒編入生の刺激がプラスになって、色々なことが混ざって良くなっている。
- ・この8年間で積み上げて来て、藤井寺工科高校定時制の評判が良くなって来ているのを感じている。

- ・資格も取れて生徒のモチベーションも上がっているのでは。これを持続して頂きたい。
- ・ICT を使うなどして、一方向の授業の時代から両方向への授業へと変わりつつある。何か作業等の動きがあると授業が盛んになりつつある。
- ・昔は家にはないものが学校に一杯あった。それが逆転している環境になってきている。有効利用、発想の転換も良いのではないかと思う。
- ・地域交流での芋掘りに6団体招待して素手で芋掘りをやっているが、灰汁はつかないのか？
⇒軍手はつかみづらいのか素手で行っている。
- ・高校生ものづくりコンテスト近畿大会出場、生徒秋季発表大会の大阪府教育委員会賞、教育振興会賞も素晴らしい。指導は？。
⇒外部講師の方にも指導をしてもらいながら取り組んでいる。
- ・生徒中心で生徒の個性を生かす方法でいると、個性が維持されて伸びていくのではないか。継続する為には、若手教員を育成して欲しい。

3 閉会挨拶